

平成 21 年 3 月議会定例会

町長施政方針演述

住 田 町

はじめに

第10回住田町議会定例会が開会されるにあたり、平成21年度の町政運営における基本的な考え方と主な施策について、所信の一端を申し上げます。

私が、町民の皆様方のご支援を賜り、町政を担当させていただき、現任期の4年が経過しようとしておりますが、これまで、町政を担うことの重大さを絶えず痛感し、「小さい町でなければできない、小さい町だからこそできるまちづくり」を目指し、厳しい財政状況のなか、行財政改革を進め、施策の見直しを行い、簡素で効率的な町政運営に努めるとともに、特に町民生活に直結した施策を重点的に実施し、住民福祉の向上に取り組んでまいりました。

人口減少、少子高齢社会の到来、都市と地方の地域間格差の拡大等、地方が直面する課題は多く、また、市町村合併、新たな地方分権改革や道州制導入に向けた検討の加速など変革の波はとどまるところを知らず、時代は大きな転換期にあります。まさに、地域ごと、自治体ごとの自治能力の真価が問われる時代であります。

本町を含む地方自治体を取り巻く社会経済情勢は依然として厳しい状況にありますが、町民の期待と信頼に応えるため、全力を挙げて町政の運営に取り組んでまいります。

平成21年度予算案

国では、生活防衛のための緊急対策経費の確保、臨時財政対策債の急増に対応するための地方公共団体金融機構の創設などを行った結果、地方自治体の財政運営の指針となる地方財政計画総額が2年続けて増加しております。

本町の平成21年度の一般会計予算総額につきましては、42億5,900万円で前年度より5億300万円、13.4%の大幅な増額となっております。これは、運動公園の改修事業による増額が大きな要因となっております。

特別会計におきましては、町営世田米簡易水道と民営川口簡易水道の統合事業が4カ年計画により開始されることにより、簡易水道事業特別会計が、前年度より2,622万円の増額となっております。

一般会計と特別会計をあわせた予算総額につきましては、61億3,971万円で前年度比3億8,921万円、6.8%の増となっております。

予算編成におきましては、中期財政計画に基づいた人件費の抑制、事務経費の節減、補助金・負担金の見直しなどを行う一方、子育て支援策等のための経費を盛り込んだところであります。

今後におきましても、自主財源の確保、事業の選択と集中により、健全な財政運営に努めてまいります。

以下、住田町総合計画で示しております「産み」「育て」「守る」の3つの目標ごとに、平成21年度の町政運営の方針と主要事業の内容につきまして申し上げます。

プロジェクト

住田町総合計画基本構想で目指す「安心してずっと暮らすことのできる地域」を実現し、本町が自立・持続していくため、「住田い町の物語」創造プロジェクトの達成に向け、各種施策に取り組んでまいります。

「産む」

～次世代の創出～

新たな息吹の誕生を願います

新しい命の誕生に対し「健やかに生まれ、たくましく育ち」を目標に、母子保健や子育てしやすい環境づくりに取り組んでまいります。

新年度より、児童の心身の健やかな成長と家庭生活の安定に寄与するための父子手当及び父子家庭に対する医療費助成を創設します。また、中学校卒業までの医療費を無料化します。さらに、妊婦健康診査の公費負担を拡充します。

人口増対策につきましては、引き続き、移住促進と縁結び支援に取り組んでまいります。

産業を創出します

農業につきましては、安全安心農産物、里山利活用、担い手組織の法人化、地域の集落営農、企業との連携等を有機的に結びつけ、また、林業につきましては、林業振興の拠点である木工団地の経営の安定化に向けた支援をし、地域林業システムのさらなる推進により、新たな産業の創出に取り組んでまいります。

さらに、国道 283 号滝観洞インターチェンジや国道 397 号の道路改良等による交通の利便性を活かした企業誘致を推進してまいります。

「育てる」

～人材の育成～

教育関連施策の推進

まちづくりの基本は人づくりです。本町の特色である保・小・中・高の系統的・継続的な教育活動を引き続き深めながら、小さい町だからできるきめ細かい連携した教育活動を推進し学力向上に努めてまいります。

家庭や地域の持つ教育力を、それぞれの役割として明確に位置づけながら、児童生徒の「生きる力」を育む、よりよい教育環境の整備に努めてまいります。

本町が、これまで進めてきた特色ある教育活動及び学校で培われてきた歴史と伝統も継承発展の方向性を確保してまいります。また、森林環境学習と国際理解活動の二本の柱につきましても、学校、家庭、地域社会との連携による地域理解や地域に根ざした教育活動として一層推進してまいります。

住田高校の魅力づくりを支援しながら、中山間地域における人材育成の提言として、県立併設校としての中高一貫教育校設置に向けた取り組みを継続してまいります。

さらに、生涯スポーツの振興とスポーツに親しむ環境の整備を図るため、運動公園の大規模改修を行います。

～ 産業の振興～

農業を振興します

基幹作物の生産拡大を図り、無農薬無化学肥料による安全安心な農業を推進してまいります。また、安全安心農産物認証・表示制度に本格的、全町的に取り組み、差別化した農産物の販売拡大を図るとともに、学校給食への安全な農産物の供給を拡大してまいります。

山焼きによる里山の環境整備と山菜等の振興を図るとともに、農林畜産物加工事業を推進し、農林畜産物の付加価値の向上と企業との連携による販路の拡大を図ってまいります。また、法人化により企業的な農業経営を行う組織の育成を図り、担い手を確保するなど、集落営農を推進してまいります。さらに、農業専門職員を採用し、営農指導に取り組んでまいります。

林業を振興します

森林・林業日本一の町を目指し、特に木工団地の経営の安定を最優先に、原材料の仕入れ・販路の確保・製品の品質向上等に対し積極的に支援をしてまいります。

また、川上分野では、国の交付金事業を積極的に活用しながら、森林整備と路網整備を進めるとともに、町有林からの素材の安定供給に努め、地域林業システムを推進してまいります。

商工業を振興します

事業者の経営の安定のため、商工会と連携し相談事業や各種支援事業などに取り組んでまいります。また、地域産業の活性化等により、雇用の場の創出を図るとともに、既存の企業の経営につきましても支援をしてまいります。

観光を振興します

観光客の動向への対応や商品の企画開発など、観光客の視点に立った施策

を展開してまいります。また、種山ヶ原などの地域資源を活かした体験・交流型観光の取り組みを推進してまいります。

「守る」

～環境の保護～

環境施策の推進

資源を大切にしたい「住田ならではの心地よい生活環境」を実現するため、資源リサイクルを推進し、「生ごみゼロ」を目標に各種施策を展開してまいります。

生活関連施設の整備

町道につきましては、緊急度と優先度による改良舗装と維持修繕に努め、町民生活の利便性の向上を図ってまいります。

簡易水道事業につきましては、安全で安定した給水のため、町営簡易水道4施設と民営簡易水道1施設の統合を行うとともに、川口地区の配水管布設工事の一部に着工してまいります。また、接続率の向上にも努めてまいります。

下水道事業につきましては、下水道区域の見直しを行いながら接続率の向上に努め、経営の安定と生活環境の改善を図ってまいります。

情報共有化の推進

光ファイバネットワークを活用した各種サービスを提供するとともに、「住田テレビ」により、地域に密着した映像情報を提供し、町民相互のふれあいや情報交流の促進を図り、町民の情報の確保と共有に努めてまいります。また、企画番組等の制作にも取り組んでまいります。

公共交通対策の推進

将来に向けて公共交通を地域の足として確保するため、利用環境の変化等を踏まえた新たな公共交通システムを地域住民、事業者、行政の連携により構築し、

本町の公共交通システムの確立に努めてまいります。

地域安全対策の推進

消防防災につきましては、災害時における消防団員の活動基盤となる消防屯所を整備するとともに、有事への備えとして、気仙川の浸水想定区域に基づく洪水ハザードマップを作成するなど、安全で安心して暮らせる町づくりのさらなる推進に努めてまいります。

また、命を守る取り組みにつきましては、傷病者の救命率の向上に向け、町民に対する AED を活用した救命講習を実施してまいります。

交通安全及び防犯につきましては、関係機関・団体と連携し、交通死亡事故ゼロの継続、飲酒運転の撲滅、犯罪の起こらない環境づくりに努めてまいります。

保健福祉の充実

子どもから高齢者まで、健やかに安心して暮らせるような環境づくりを推進してまいります。特に、「自分の健康は自分で守る」意識を高めるため、特定健診、特定保健指導をはじめとして、各種健診、健康教育等の保健活動を推進してまいります。

また、地域医療を守るため、住田地域診療センターの有床化の維持を目指した町民運動を引き続き展開してまいります。

社会福祉の充実

障害福祉サービスの適切な利用を通じて障害者が地域で自立した日常生活を営めるとともに、高齢者とその家族が住み慣れた地域で、安心して生活を送れるよう支援をしてまいります。

国民健康保険事業の運営

本町の一人当たりの医療費が県内でも上位にあります。健康づくりと予防活動

の充実により、医療費の抑制など健全な国民健康保険財政の運営に努めてまいります。

介護保険事業の運営

住田町老人福祉計画第4期介護保険事業計画の初年度となります。保険料の見直しを行い、要介護者の増加及び介護報酬の改定などの要因から保険料を増額させていただきました。引き続き、充実したサービスの提供と安定した事業運営に努めてまいります。

～協働の推進～

協働によるまちづくり

町民による自主的で主体的な特色ある地域づくりを推進するため、地区別計画への人的・財政的支援を継続してまいります。

また、次世代のリーダーを育成するための地域づくり塾を開設するとともに、地域課題の解決や安心して暮らせる地域づくりに取り組む団体等を支援してまいります。

行財政改革の推進

効率的・効果的な行政運営のため、事務事業・行政組織の見直し、職員の資質の向上など、集中改革プランに基づき行財政改革に積極的に取り組んでまいります。なお、民間でできることは民間に委ねることを基本に行政の役割の重点化を図ってまいります。

結びに

以上、新年度のまちづくりに臨む私の所信の一端と主な施策の概要について、申し上げます。

自治体は、いつの時代にあっても、また、どの地域にあっても、その内容に違いは

あるものの多くの課題を抱えています。行政運営にかかわった先達の誰もが、ときに早足で、ときに着実な前進によって困難を乗り越え、自治の歴史を重ねてこられました。

今を生きる私たちも、新しい時代の物語を綴るため、決して諦めることなく「挑戦」を続け、課題を克服して行かなければなりません。

「世に生を得るは事を成すにあり」

幕末の混乱期から大政奉還、明治維新へと、まさに時代を切り開いた志士・坂本龍馬の言葉であります。「この世に生まれた限り、何かをしたい。」誰しも思うことです。

今、100年に一度の世界不況の時代に、世界も日本も混乱しておりますが、大きいことはいいこと、儲かることが全てという社会現象が経済危機とともに社会不安をもたらしてきています。

こういう時代だからこそ、人と人、地域と人との絆を大切にする地域コミュニティが見直されるものだと思います。

本町が元気で魅力あるまちとなるよう、また、町民の皆様から「住田町民で良かった」と言っていただけるよう、いつまでも住み続けたいと思うまちづくりを目指して取り組んでまいります。

議員の皆様の一層のご理解、ご協力と町民の皆様の積極的なまちづくりへのさらなる参画を心からお願い申し上げまして、私の所信とさせていただきます。